

◆施工上の注意事項

1. 下地の砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に除去し、下地との付着を高めるため、事前にポリッシャー・サンダー・研削機にて下地調整を必ず行って下さい。また、新設コンクリート・モルタルの表面には、レタナス（遊離アルカリ）による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリッシャー等でレタナス層を完全に除去して下さい。また、刷毛引き仕上げコンクリート面に施工する際は、当社までお問合せ下さい。強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。
2. コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ・硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良を招く場合があります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-520・HI-520-2で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
3. コンクリート・モルタルに発生した亀裂は、Uカットして、フローンエポパテ等を充填し、亀裂面が平滑になるように研磨して下さい。フローンヌルサットクリヤーではフローンエポパテ等の補修剤を隠すことができません。ご注意下さい。
4. アスファルトコンクリート面には施工しないで下さい。
5. 2液反応硬化型ですから、配合比を厳守して下さい。A液・B液を規定の割合で計量、混合し、十分に攪拌して下さい。不十分ですと、塗膜性能が十分に発揮されない恐れがあります。
6. B液はキャップ口からのみの添加では、規定量を配合することは困難です。中身を出したB液の缶の中に希釈用の水道水を投入し、しっかりと振って完全に中身を出し切ってください。水を混合したB液は反応ガスが発生します。反応ガスの影響で密閉した容器が膨張し、内容物が噴出する恐れがあります。小分けする場合は、B液に水を混合しないで下さい。
7. 規定量以下の配合では、塗膜性能が十分に発揮されない恐れがあります。
8. 素地の水もれ、屋外での雨天時の施工は塗膜の剥離、硬化不良の原因となりますので絶対に避けて下さい。
9. 2液反応硬化型ですから、2時間以内に使い切ってください。2時間を超えたものは塗膜に欠陥を生じますから絶対に使用しないで下さい。
10. 施工後23℃では、2時間程度経過後、歩行可能となります。ただし、この時間帯は、温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意下さい。
11. ご使用になる環境を十分に考慮して適正な材料と施工法を決定して下さい。
12. きれいに仕上げる為に、中毛ローラーにてタテ、ヨコ（十字）で塗装して下さい。
13. 厚塗りした場合、重重量により凹みを生じる可能性があります。標準塗布量を厳守して下さい。
14. フローンNSプライマーに使用したローラー、はけ等はフローンヌルサットと共用しないで下さい。他の容

15. 表面乾燥が早く、皮はりをしやすいため、開封後は速やかに使い切ってください。
16. 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際、塗膜が剥がれる場合があります。
17. タイヤ等のゴム製品が長時間接触していると、塗膜の汚染や剥離が生じる場合があります。
18. 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
19. クリヤー層の摩耗によって下地本来の艶が露出する可能性があります。
20. 艶消は、使用頻度により経時で艶が発生することがあります。
21. 艶消は、濃彩色や原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。色落ちが発生することが考えられる場合には、フローンヌルサットクリヤー艶消を塗装して下さい。
22. 気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。

10℃以下 硬化後速 (カブリ、しわ、軟化発生)	15~25℃ 最適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
--------------------------------	--------------	-----------------------------

23. 硬化時間、硬化後の性能は施工時の温度に大きく影響されます。また、施工時の環境が悪い場合（低温時、換気が不十分でない室内）は塗膜に欠陥（ヒビ割れ、硬化不良等）が発生する恐れがありますので、窓、ドアを開放する、又は送風機等を使用し、換気を良くして下さい。
24. 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止のため、十分な換気をし、発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
25. 直接皮膚に触れないように十分に注意して下さい。もし、触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗ってください。
26. 臭気の感じ方は個人差がありますので、特に臭気を気にする施工現場では事前に確認を行って下さい。
27. フローンヌルサットシリーズは、水を希釈剤としているため、凍結する恐れがあります。凍結したものは、正常な塗膜が得られないことがあるため、凍結させないように保管して下さい。
28. 材料の保管、取扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき十分な管理をお願いします。
29. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時及び施工後の換気を充分に行ってください。
30. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。B液の容器を廃棄する際は、穴を開けておくか、蓋をせずに廃棄して下さい。容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄業者に処理を依頼して下さい。

引火性あり	警告	有害性あり	感作性あり
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 引火性の液体である。 2. 有機溶剤中毒の恐れがある。 3. 健康に有害な物質を含有している。 4. 皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 		
業務用	<p>《注意事項》 1. 通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。</p> <p>2. アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)</p> <p>※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。 ※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。</p>		

厚生労働省指針13物質
文部科学省基準6物質
非配合
非トルエン・非キシレン
クロムフリー

無鉛

2液水性速乾ウレタン床用塗料

フローンヌルサット フローンヌルサットクリヤー

NULL SATTO SERIES

汚れにくい 速乾 簡単! 艶有艶消 環境に優しい 耐アルコール (クリヤー)

●お問い合わせは・・・

東日本塗料株式会社



本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。
 ※このカタログは植物油インキを使用し、環境保全や大気汚染の低減に貢献しています。
 ※本書に収録したものの一部または全部の無断複製、転載を禁じます。

URL <https://www.hnt-net.co.jp> CATALOG NO.17 '25.09.3000

東日本塗料

2液水性速乾ウレタン床用塗料

フローンヌルサット

艶有・艶消

水性

低臭

防塵

簡単

- ① 電動の攪拌機が無くても簡単に攪拌できます。
- ② 既存塗膜にプライマーなしで密着します。

※既存塗膜への密着性は一覧表(P2)を参照して下さい。

速乾

施工後8時間で
フォークリフト走行

OK!
(23℃)

汚れにくい

フォークリフトが
走行しても傷や汚れが
付きにくいです

簡単

ご使用方法(フローンヌルサット、フローンヌルサットクリヤー共通) (例:フローンヌルサット13.2kg、フローンヌルサットクリヤー14kgの場合)

フローンヌルサットシリーズは電動攪拌機が無くても攪拌できます

※サンドペーパーを使用する際は、コンクリート・モルタル面で#60~80、既存塗膜の塗替えで#180~240を推奨します。
 ※小分けをしてご使用の際はフローンヌルサットは10:1、フローンヌルサットクリヤーは6:1の配合比(重量比)で計量して下さい。
 (注)A液、B液の混合、攪拌の際は、塗装に使用する刷毛やローラーを使用しないで下さい。
 (注)水を混合したB液は反応ガスが発生します。反応ガスの影響で密閉した容器が膨張し、内容物が噴出する恐れがありますので、必ず全量使い切って下さい。
 廃棄の際は、穴を開けておくか、蓋をせずに廃棄して下さい。

手を切らないように
気をつけて下さい

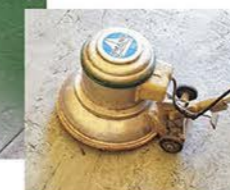


←QRコードより動画で
実際の攪拌方法をご覧いただけます。

塗替えはプライマー不要 研磨のみでOK



必ず目荒しをします。



もちろんポリッシャーでもOK。



■既存塗膜への密着性

商品名	ヌルサット	商品名	ヌルサット
フローン50・50TXフリー・55	○	アースフローンR	○
フローンエポローラー	○	アースフローン水性	○
フローン22	○※1	フローンアクアエポ	○
フローンフルトップ・フルトップBio	○	フローンヌルサット	○
フローンクイックF	○	ハイフローン	○
エポエース	○	水性フロアー	○
ソルエポ90	○	フローンアクアファースト(遮熱)	○
AUコート	○		

※既存塗膜は必ず目荒しを行って下さい。
 ※1 フローンヌルサット艶消は密着しません。

速 乾

施工後8時間(23℃)でフォークリフト走行OK!
開放が早いので業務への負担が低減!

フローンナルサット艶有 一般2液水性ウレタン塗料



重作業可能時間で緻密な塗膜を形成し、
ヒールマークの付着を抑制します。

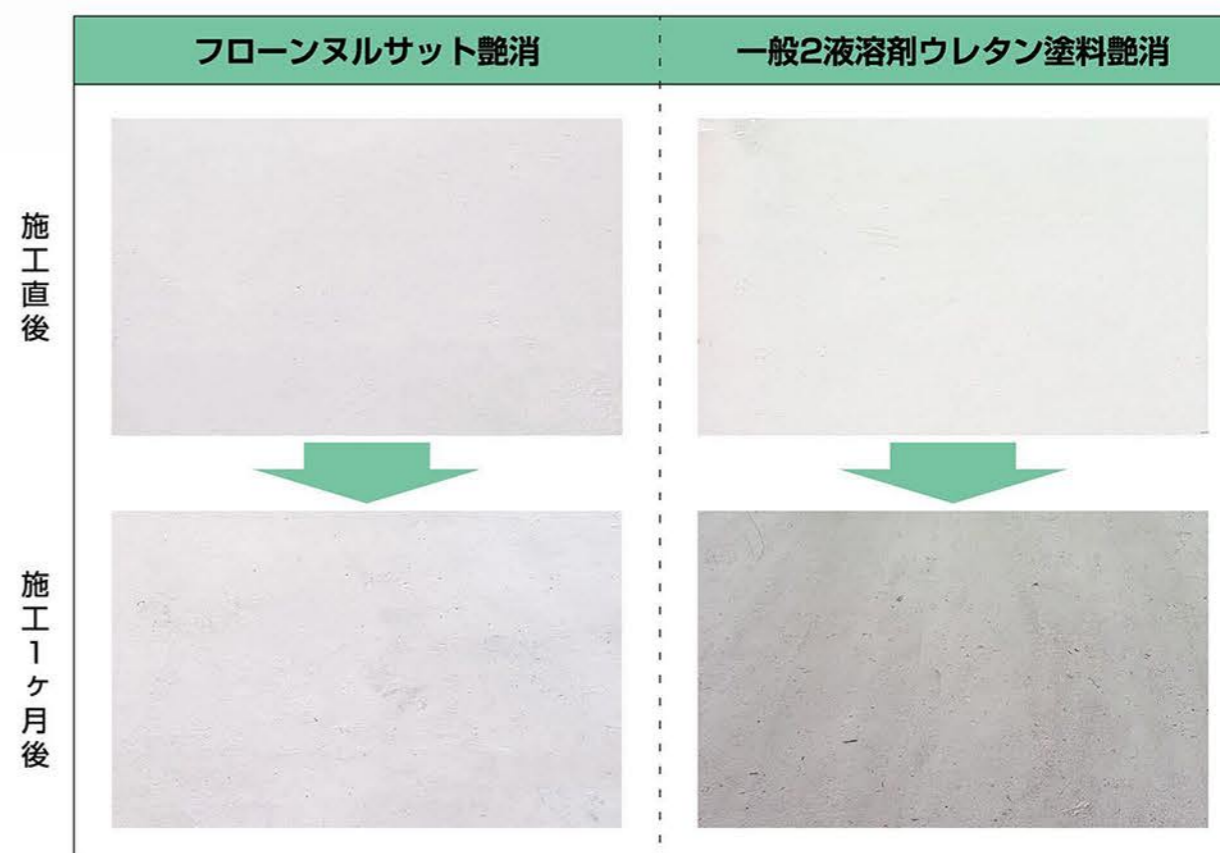
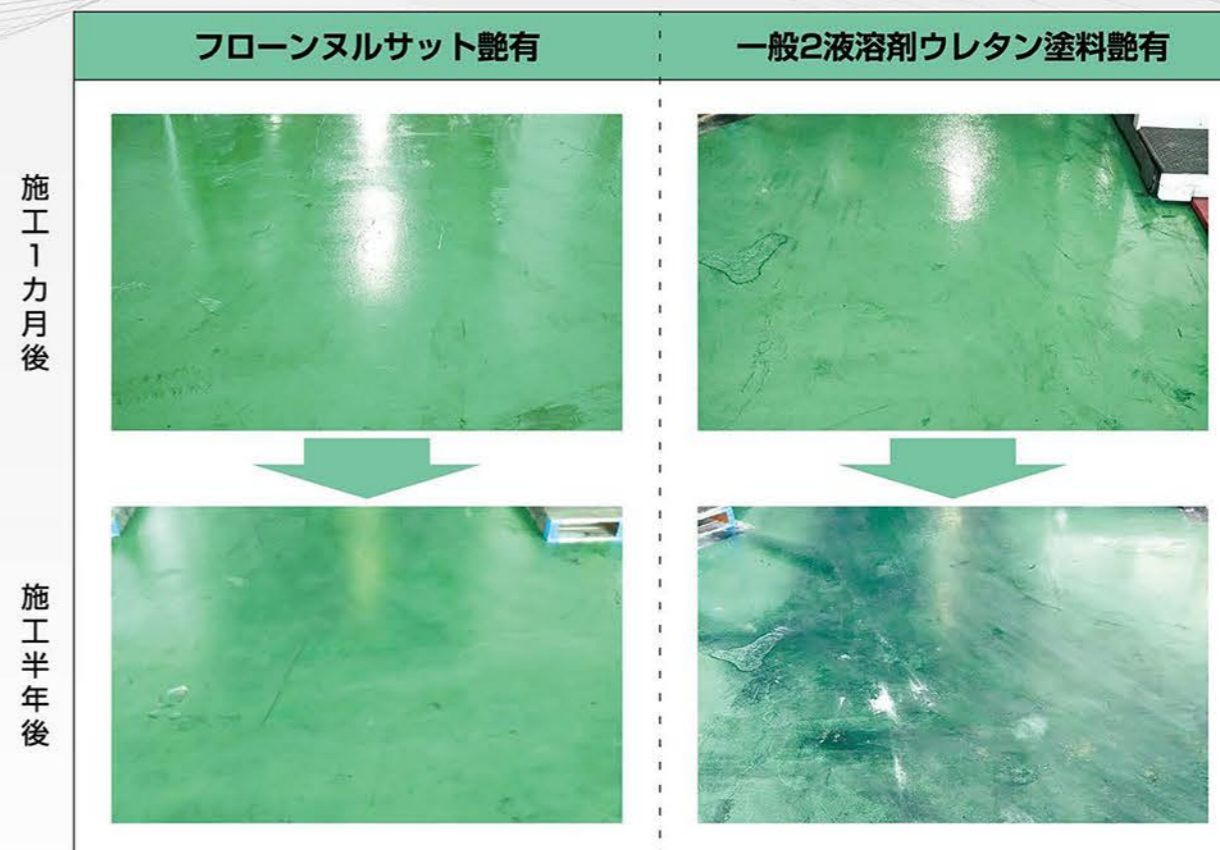
フローンナルサット艶消 一般2液水性ウレタン塗料



←QRコードより動画で
“フローンナルサット艶消”のヒールマーク付着の抑制・
汚れにくさをご覧ください。

汚れにくい

フォークリフトが走行しても傷や汚れが付きにくく、長期にわたって美観維持ができます。
2液溶剤塗料を上回る耐汚染性!



※リーチリフトが走行する場合、塗膜が摩耗・剥離する場合がありますので、使用状況によっては厚膜タイプの塗り床材を推奨します。

標準工法

工法名	工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能時間 (23℃)	備考
◇コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm) ④フローンナルサット ③フローンナルサット ②フローンNSプライマー ①素地調整	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンNSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	フローンナルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フローンナルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇強化コンクリート面コーティング工法 (総合塗膜厚約0.2mm) ④フローンナルサット ③フローンナルサット ②フローンエコブラ速乾 ①素地調整	1	素地調整 ※2	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンエコブラ速乾	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	フローンナルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フローンナルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇既存塗膜面の塗り替え (総合塗膜厚約0.2mm) ②③フローンナルサット ①素地調整	1	素地調整	—	—	既存塗膜の浮き・ハガレ部はケレンし、除去する。また、汚れ・油分・ワックスは除去し、必ずサンダー・ポリッシャー等で目荒しを行う。
	2	フローンナルサット 水道水	0.15 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	フローンナルサット 水道水	0.15 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇プラチップ仕上げ (総合塗膜厚約0.9mm) ④フローンナルサット フローンプラチップ ③フローンナルサット フローンプラチップ ②フローンNSプライマー ①素地調整	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンNSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	フローンナルサット 水道水	0.15 0.0075 0.006	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈したフローンナルサット1に対し、フローンプラチップを5%計量、混合、攪拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フローンナルサット 水道水	0.15 0.0075 0.006	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
◇防滑(追吹付)工法 ※3 (総合塗膜厚約1.2mm) ⑥フローンナルサット ⑤フローンナルサット ④フローン珪砂6号 または7号(追吹付) ③フローンナルサット ②フローンNSプライマー ①素地調整	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンNSプライマー ※1	0.15	2~48時間	原液のまま、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	フローンナルサット 水道水	0.15 0.006	直後	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フローン珪砂6号 または7号(追吹付)	0.3	2~48時間	工程3の直後、リシンガン(口径3~4mm)にてフローン珪砂6号または7号を散布。硬化後、余剰なフローン珪砂を除去。
	5	フローンナルサット 水道水	0.2 0.008	2~48時間	A液:B液=10:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で4%希釈、攪拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	6	フローンナルサット 水道水	0.2 0.008	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	

- ※1 吸い込みが激しい場合は、再度フローンNSプライマーを塗布して下さい。また、フローンNSプライマーに使用したローラー、はけ等は、フローンナルサットと共用しないで下さい。一般的なコンクリート面には、フローンエコブラ速乾もご使用になれます。緻密なコンクリートの場合は剥離の可能性があるため、フローンエコブラ速乾での密着試験を推奨します。
- ※2 強化コンクリート面に塗布する際は、必ずサンドペーパー(#40~80)付きポリッシャー等で表面のゴミ、汚れ、ホコリ、ワックス等を完全に除去して下さい。
- ※3 追吹付工法は、光の当たり具合によっては塗装ムラ(吸い込みムラ)やフローン珪砂の撒きムラが目立つ場合があります。
- コンクリート表面強化剤が塗布されている場合は、剥離の可能性があるため、フローンエコブラ速乾での密着試験を推奨します。
- 艶消は経時で目立たなくなりますがローラー・はけ塗装時の塗り継ぎ部では厚膜となり、その部分の艶が高く、艶ムラが生じる場合があります。特に高温時や直射日光が当たる場所では乾燥が早くなり、塗膜厚が不均一になりやすいため、ご注意ください。
- 艶消は中毛ローラーにてタテ、ヨコ(十字)でムラがでないよう、特に注意して塗装して下さい。中毛ローラーはウーブンローラーをご使用下さい。
- 艶消は塗膜表面の凹凸により艶感が異なって見える場合がありますので、施工途中でローラーの種類は変えないで下さい。
- 艶消は、濃彩色や原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。色落ちが発生する場合は、フローンナルサットクリヤー艶消を塗装して下さい。

用途



適用下地

内外部モルタル・コンクリート床面・既存塗膜の塗替え
 ※アスファルトコンクリート面には施工できません。
 ※刷毛引き仕上げのコンクリート面に施工する際、当社までお問合せ下さい。
 ※タイヤ接地面は剥離する可能性がありますので下地の研磨処理は念入りに行ってください。また、大型車両やグリッパが強いタイヤ車を駐車する場合は、厚膜タイプの塗り床材を推奨します。
 ※強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。

色相

色相は色見本帳をご参照下さい。

常備色(6色)、標準色(15色) ※受注生産、指定色

常備色(6色)	標準色(15色) ※受注生産	指定色
A-1 マスカットグリーン	B-4 ムーングレー	B-15 キャメルイエロー
A-2 エメラルドグリーン	B-5 シルバークレー	B-22 マイルドグリーン
A-3 フレッシュグリーン	B-6 ハンターグリーン	B-16 チャイナベージュ
A-4 フォックスグレー	B-7 セメントグレー	B-23 ウォーターブルー
A-5 サンドベージュ	B-12 ライトベージュ	B-18 ラインイエロー
A-6 スカーレットブラウン	B-21 アーモンドブラウン	B-24 ハーベストブラウン
	B-26 ゴールデンイエロー	

同一製品でも生産ロットが異なると、常備色・調色品共に色が異なる場合があります。特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合、仕上りに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット、同一方法で、見切りの良いところまで仕上げて下さい。

容量・配合比・塗装面積

品名	容量			配合比(重量比)		標準塗装面積
	A液	B液	セット	A液	B液	
フローンナルサット艶有・艶消	12kg	1.2kg	13.2kg	10	1	0.15kg/m ² 回塗りで44m ²
	3kg	0.3kg	3.3kg	10	1	0.15kg/m ² 回塗りで11m ²



性能・性状・物性

試験項目	結果		試験条件
	艶有	艶消	
耐水性	◎	◎	水道水、1ヶ月浸漬
耐塩水性	◎	◎	20%塩水、スポット試験48時間
耐溶剤性	◎	◎	トルエン、スポット試験48時間
	○	○	キシレン、スポット試験48時間
耐酸性	○	○	エタノール、スポット試験48時間
	◎	◎	10%塩酸、スポット試験48時間
	◎	◎	10%硫酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	◎	◎	10%硝酸、スポット試験48時間
	○	○	10%酢酸、スポット試験48時間
	◎	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
耐生活材性	◎	◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
	◎	◎	0.1%次亜塩素酸ソーダ、スポット試験48時間
耐油性	◎	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	◎	醤油、スポット試験48時間
	◎	◎	ソース、スポット試験48時間
	◎	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	◎	切削油、スポット試験48時間

◎=異常なし / ○=やや艶引け、白化 スポット試験はJIS A 5705に準拠
 試験結果は弊社における試験に基づくもので保証ではありません。

■性状・物性		
試験項目	試験結果	試験条件
外観	A液 着色粘稠液 B液 透明粘稠液	
引っかき硬度	2H	JIS K 5600鉛筆法
耐摩耗質量	80mg(艶有) 136mg(艶消)	JIS K 7204テーバー式 摩耗試験機、 CS-17 9.8N 回転数1000回転
鏡面光沢度	80(艶有) 18(艶消)	JIS K 5600入射角60度
耐候性	異常なし	S-W-O-M 500時間
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

■乾燥性			
艶有乾燥性			
温度	10℃	23℃	30℃
可使用時間	3時間	2時間	1.5時間
上塗り可能時間	3時間	2時間	30分
歩行可能時間	5時間	2時間	2時間
重作業可能時間	18時間	8時間	7時間
艶消乾燥性			
温度	10℃	23℃	30℃
可使用時間	2時間	1.5時間	1時間
上塗り可能時間	3時間	2時間	30分
歩行可能時間	5時間	2時間	2時間
重作業可能時間	18時間	8時間	7時間

2液水性速乾ウレタンクリヤー床用塗料

フローンナルサット クリヤー 艶有・艶消

水性

低臭

防塵

抗菌

UV
カット

耐
アルコール



フローンナルサットに待望のクリヤーが誕生!!

性能はそのままに、様々な下地に対して
クリヤー仕上げが可能となりました。

塗膜の保護クリヤーとしても、フォークリフト走行時のタイヤ痕や
歩行時のヒールマーク付着を抑制します。

また、消毒用のアルコールに対しても耐性があるクリヤー床材です。

フローンナルサットクリヤー艶有・艶消の特長

防塵+汚れにくい

下地の風合いを残しつつ耐汚染性向上

コンクリート下地

未塗装

クリヤー塗装

下地の風合いを残しつつ耐汚染性向上

コーヒーを垂らし、30分放置した後ウエスで拭き取った際の汚染性比較

防滑仕上げが可能



フローンクリヤーチップを使用することにより、クリヤー防滑仕上げが可能となります。

抗菌効果

抗菌性試験 抗菌効果試験(JIS Z 2801に準ずる)



飲食店の床や食品工場、幼稚園などに最適です。

UVカット



未塗装

クリヤー塗装

紫外線カットの機能を有しており、
下地塗膜の退色・変色を抑制します。

標準工法

No	工法名	工程	材料名	使用量 (kg/m ²)	上塗り可能時間 (23℃)	備考
1	◇クリヤーコーティング工法 (総塗膜厚約0.15mm) ②③④フロンタルサットクリヤー	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
		2 (吸込止め)	フロンタルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、はけにて塗布。
		3	フロンタルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	
		4	フロンタルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
2	各種プライマー	各製品の仕様に従って下さい。ご使用の際は必ず各カタログをご参照下さい。				
2	◇クリヤー仕上げ工法(塗膜保護) ②各種プライマー ③各種塗膜 ④⑤フロンタルサットクリヤー	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
		2	各種プライマー	各製品の仕様に従って下さい。ご使用の際は必ず各カタログをご参照下さい。		
		3	各種塗膜 ※1	各製品の仕様に従って下さい。ご使用の際は必ず各カタログをご参照下さい。		
		4	フロンタルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、はけにて塗布。
5	フロンタルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上			
3	◇クリヤーチップ仕上げ (総塗膜厚約0.3mm) ③④フロンタルサットクリヤー フロンクリヤーチップ ②フロンタルサット クリヤー	1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。
		2 (吸込止め)	フロンタルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、はけにて塗布。
		3	フロンタルサットクリヤー 水道水 フロンクリヤーチップ※2	0.1~0.15 0.0035~0.0053 0.005~0.0075	2~48時間	
		4	フロンタルサットクリヤー 水道水 フロンクリヤーチップ※2	0.1~0.15 0.0035~0.0053 0.005~0.0075	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
1	素地調整	—	—	※施工上の注意事項をご参照下さい。 タイル面には汚れなど、密着不良となる原因物質が付着している可能性がありますので、必ず研磨、高圧洗浄および脱脂等の素地調整を行って下さい。		
4	◇磁器タイル面 コーティング工法 (総塗膜厚約0.1mm) ②③フロンタルサット クリヤー	2	フロンタルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	2~48時間	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈、攪拌後、中毛ローラー※3、はけにて塗布。
		3	フロンタルサットクリヤー 水道水	0.1~0.15 0.0035~0.0053	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
		1	素地調整	—	—	
5	◇磁器タイル面防滑工法 (総塗膜厚約0.3mm) ②③フロンタルサットクリヤー フロンクリヤーチップ	2	フロンタルサットクリヤー 水道水 フロンクリヤーチップ※2	0.1~0.15 0.0035~0.0053 0.005~0.0075	2~48時間	A液:B液=6:1(重量比)の割合で計量、混合、水道水で3.5%希釈したフロンタルサットクリヤー1に対し、フロンクリヤーチップを5%計量、混合、攪拌後、ローラーバケットに全量移し替え、作業ごとに底に沈んだ骨材を中毛ローラーで攪拌、余分な骨材をローラーネットできしめ、中毛ローラー※3にてタテ、ヨコ(十字)に施工し、骨材の偏りを整えながら塗布。
		3	フロンタルサットクリヤー 水道水 フロンクリヤーチップ※2	0.1~0.15 0.0035~0.0053 0.005~0.0075	歩行可能時間 :2時間以上 重作業可能時間 :8時間以上	
		1	素地調整	—	—	

※1.クリヤーが塗装可能な塗料・塗膜については一覧表(P10)をご参照下さい。
 ※2.クリヤー塗料である為、骨材は必ず専用骨材をご使用下さい。フロンクリヤーチップは密集すると白く濁りますので、タテ、ヨコ(十字)に施工し、骨材の偏りを整えながら塗布して下さい。また、フロンクリヤーチップは沈降しやすいので、作業ごとに底に沈んだ骨材をローラーで攪拌して下さい。
 ※3.艶消は、ハイバイルローラーで施工するとむらになりますので、ウーブンローラーをご使用下さい。
 ・緻密なコンクリート、強化コンクリートの場合、タルサットクリヤーは施工できません。
 ・コンクリートの状態によっては濡れ色むらになる場合があります。カチオン浸透エポプライマーをプライマーとして使用する事で抑制する事ができます。カチオン浸透エポプライマーをプライマーとして使用する場合は、必ず、フロンタルサットクリヤーを上塗りとして2回塗布して下さい。
 ・タイルの目地がモルタルの場合、塗装することにより風合い・艶が変わる場合がありますので、事前の試験塗りを推奨します。
 ・吸込みが大きい下地に塗装する際には、吸込みが止まるまで複数回塗装して下さい。
 ・素地や塗膜のクラック等、欠損部からの水の侵入や、素地背面からの水の侵入があった場合、塗装部が濡れ色になる場合があります。
 ・規定量以上塗装すると白く濁ります。タイルの目地部などの溝が深い箇所には溜まりができませんようにして下さい。

用途



適用下地

内外部モルタル・コンクリート床面・磁器タイル・セラミックタイル・御影石・各種塗膜の保護コーティングなど

※アスファルト・コンクリート面には施工できません。
 ※剛毛引き仕上げのコンクリート面には施工できません。
 ※タイルには種類がありますので事前の密着テストで適用できるか確認を行って下さい。
 ※鏡面セラミックタイル・大理石・レンガ調タイル等への施工はできません。
 ※ワックス・フッ素・シリコンなどのコーティング面には施工できません。
 ※タイヤ接地面は剥離する可能性がありますので、下地の研磨処理は念入りに行ってください。また、大型車両やグリッパが強いタイヤ車を駐車する場合は、厚膜タイプの塗料を推奨します。
 ※ポリマーセメント系下地調整材は濡れ色ムラになるため施工できません。
 ※強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。

容量・配合比・塗装面積

品名	容量			配合比(重量比)		標準塗装面積
	A液	B液	セット	A液	B液	
フロンタルサット	12kg	2kg	14kg	6	1	0.15kg/m ² 3回塗りで31.1m ²
クリヤー 艶有・艶消	3kg	0.5kg	3.5kg	6	1	0.15kg/m ² 3回塗りで7.78m ²



◆防滑用骨材
 フロンクリヤーチップ 容量0.7kg、0.175kg
 (大きさ: 珪砂6号~7号の間)



←QRコードより動画で
 フロンクリヤーチップの使用法を
 ご覧いただけます。

塗膜への密着性

商品名	タルサットクリヤー
フロン50・50TXフリー・55	○
フロンエポローラー	○
フロン22	×
フロンフルトップ・フルトップBio	○
フロンクイックF	○
エポエース	○
ソルエポ90	○
AUコート	×

商品名	タルサットクリヤー
アースフロンR	×
アースフロン水性	×
フロンアクアエポ	○
フロンタルサット	○
ハイフロン	×
水性フロアー	○
フロンアクアファースト(遮熱)	○

性能・性状・物性

試験項目	結果		試験条件
	艶有	艶消	
耐水性	○	○	水道水、1ヶ月浸漬
耐塩水性	○	○	20%塩水、スポット試験48時間
耐溶剤性	○	○	トルエン、スポット試験48時間
	○	○	キシレン、スポット試験48時間
耐酸性	○	○	エタノール、スポット試験48時間
	○	○	10%塩酸、スポット試験48時間
	○	○	10%硫酸、スポット試験48時間
	○	○	10%硝酸、スポット試験48時間
	○	○	10%酢酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	○	×	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
	○	○	0.1%次亜塩素酸ソーダ、スポット試験48時間
耐生活材性	○	○	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	○	○	醤油、スポット試験48時間
耐油性	○	○	ソース、スポット試験48時間
	○	○	サラダ油、スポット試験48時間
	○	○	灯油、スポット試験48時間
	○	○	エンジンオイル、スポット試験48時間
	○	○	切削油、スポット試験48時間

○=異常なし/△=やや艶引け、白化/×=変色 スポット試験はJIS A 5705に準拠
 試験結果は弊社における試験に基づくもので保証ではありません。

性状・物性

試験項目	試験結果	試験条件
外観	A液 着色粘稠液 B液 透明粘稠液	
引っかき硬度	2H	JIS K 5600鉛筆法
耐摩耗質量	80mg(艶有) 94.5mg(艶消)	JIS K 7204テーパー式 摩耗試験機、 CS-17 9.8N 回転数1000回転
鏡面光沢度	80(艶有) 5(艶消)	JIS K 5600入射角60度
耐候性	異常なし	S-W-O-M 500時間
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

乾燥性

温度	10℃	23℃	30℃
可使用時間	3時間	2時間	1.5時間
上塗り可能時間	3時間	2時間	30分
歩行可能時間	5時間	2時間	2時間
重作業可能時間	18時間	8時間	7時間